

2013.05.13

どんがめ会(藤本君来熊)杵島岳1326m～往生岳1270m







2013/05/13
草千里駐車場



2013/05/13
草千里駐車場


草泊まり→

杵島岳 ミヤマキリシマ
古御池火口群
Furumike Craters

杵島岳1326mへ、いざ出発

烏帽子岳1337m





俵山1095m

風車

杵島岳登山道からの俵山



マイヅルソウ(舞鶴草)ユリ科
2018/05/13 杵島岳

烏帽子岳1337m

草千里

杵島岳1326m



俵山1095m





ハルリンドウ(春竜胆)リンドウ科
2013/05/13杵島岳



ハルリンドウ(春竜胆)リンドウ科
2013/05/13杵島岳



ハルリンドウ(春竜胆)リンドウ科
2013/05/13杵島岳



合志

藤本君

小出さん

吉岡君

下園君

2013/05/13
杵島岳山頂1326m

涌蓋山1500m
↓

九重連山

佳生岳1270m

杵島岳1326m





杵島岳1326mの旧火口跡



キジムシロ(雉薺)バラ科
2013/05/13



キジムシロ(雉薔)バラ科
2013/05/13

高岳1592m

中岳1506m

杵島岳1326m





ミツバツチグリ(三葉土栗)バラ科

ハルリンドウ(春竜胆)リンドウ科
2013/05/13杵島岳

米塚954m



鞍岳1119m

ツームシ山1064m

米塚954m

杵島岳1326m





高岳1592m

中岳1506m

イワカガミ(岩鏡)イワウメ科
2013/05/13杵島岳1326m



イワカガミ(岩鏡)イワウメ科
2013/05/13杵島岳1326m





ノスリ(鶯)ワシタカ科 L=55cm
2013/05/13熊本県阿蘇市往生岳



中岳 1506m

鞍岳1119m
↓

ツームシ山1064m
↓

八方ヶ岳1052m
↓

杵島岳1326m・往生岳1270m鞍部



高岳 1592m

中岳 1506m

杵島岳・往生岳鞍部

高岳1592m

中岳1506m



2013/05/13
杵島岳・往生岳鞍部での昼食後





烏帽子岳1337m

往生岳1270m

杵島岳1326m

往生岳三角点



ミヤマキリシマ(深山霧島)ツツジ科
2013/05/13往生岳三角点



ミヤマキリシマ(深山霧島)ツツジ科
2013/05/13往生岳三角点

烏帽子岳1337m

往生岳1270m






マイヅルソウ(舞鶴草)ユリ科
2013/05/13 往生岳

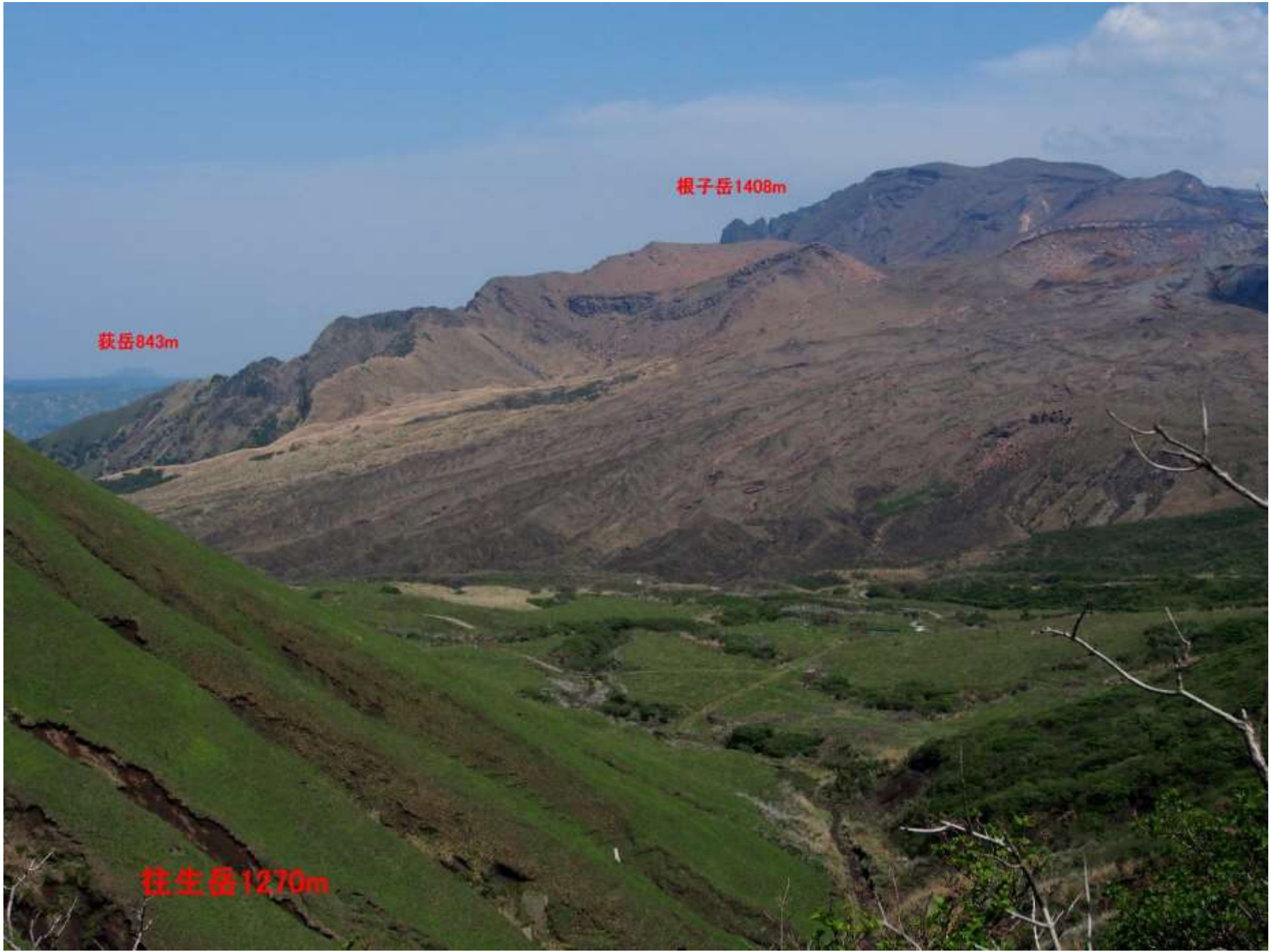


クマイチゴ(熊莓)バラ科
2013/05/13往生岳からの帰路



荻岳843m

往生岳



荻岳843m

根子岳1408m

往生岳1270m

高岳1592m

中岳1506m

杵島岳1326m





マイヅルソウ(舞鶴草)ユリ科

ハルリンドウ(春竜胆)リンドウ科
2013/05/13往生岳からの帰路



キスミレ(黄堇)スミレ科
2013/05/13 杵島岳登山道

烏帽子岳1337m



二重峠(ふたえのとうげ)

参勤交代の道(豊後街道)

Road of Sankin-kotai * (Bungo Kaido)

참근교대의 길(분고카이도(豊後街道) 가도)

「参勤交代」之道(丰后街道)

「参勤交代」之道(豊後街道)

この道は^{ほんせいじだい}藩政時代、^{えんごつもさき}肥後と豊後鶴崎を結ぶ重要な街道として利用されました。

豊臣秀吉が天下を統一し、加藤清正が肥後に入国すると、熊本から^{つるさき}鶴崎までこの道を使い、^{つるさき}鶴崎からは船で大阪を往復しました。

江戸時代になり、参勤交代制度が確立すると、細川藩も、江戸往復にこの街道を利用しました。

街道沿いには、熊本城の西大手門(新町一丁目)を起点として一里ごとの目印となる里数木が植えられ、休憩するところには御茶屋が設けられていました。

この道を谷内に下ると、今でも往時の石畳や御茶屋跡が残っています。

*official attendance service by feudal lords in the Edo period

Bungo Kaido was used as an important route that connected Higo and Tsurusaki. Bungo (Oita) during the domain administration period.

After Hideyoshi Toyotomi unified the whole country and Kiyomasa Katō entered Higo (Kumamoto) to rule the province, Kato used this road to and from Tsurusaki, where he took a ferry to and from Osaka.

During the Edo period (1603-1867), as the Sankin-kotai system was established, the Hosokawa domain also started to use the road when they traveled back and forth between Edo (Tokyo).

Along the road trees were planted separated from one another by one ri (an old Japanese unit of distance, approx. 3.9 km or 2.4 miles), marking the distance from the starting point at the west main gate of Kumamoto Castle (current address is Shinmachi 1). Tea houses were set up at resting points as well.

The ancient stone paving and the remains of a teahouse can be seen along the valley down this road.

이 길은 한세시대 히고(肥後) 지역과 분고쓰루사키(豊後鶴崎) 지역을 잇는 중요한 거도로써 이용되었습니다. 도요토미 히데요시(豊臣秀吉) 시가 천하를 통일하고, 가토 기요마사(加藤清正)가 히고로 입국해서 구이모토(熊本)에서 쓰루사키(鶴崎) 지역까지 이 길을 사용했고, 쓰루사키지역에서는 배로 오사카(大阪)를 왕복하였습니다.

에도시대(江戸時代)가 되어 참근교대제도가 확립되자 호소카와한(細川藩)도 에도 왕복에 이 가도를 이용하였습니다.

가도를 따라서 구이모토(熊本) 성의 니시오테몬(西大手門)(신마치 1초(新町一丁目)) 지역을 기점으로 삼리마다 이정표가 되는 나무가 심어지고, 휴게하는 곳에는 찻집이 마련되었습니다.

이 길을 골짜기 안으로 내려가면 지금도 원년의 돌길과 찻집 터가 남아 있습니다.

这条道路在藩政时代，被当作连接肥后与丰后鹤崎的重要街道被加以利用。

在丰臣秀吉统一天下，加藤清正进入肥后之后，由熊本到鹤崎都使用这条道路，由鹤崎可以搭船连接大阪。到了江戸时代，「参勤交代」(出来御官督御主振务)制度确立之后，细川藩也将这条街道当作往返江戸之用。

沿着这条街道，以熊本城的西大手门(新町一丁目)作为起点，每一里都种上里程树以作为记号，并在休息的地方设置了茶馆。

由这条道路来到谷内，则可以看到至今仍保留着的以往的铺石地或茶馆的遗迹。

这条道路在藩政时代，被当作连接肥后与丰后鹤崎的重要街道被加以利用。

在丰臣秀吉统一天下，加藤清正进入肥后之后，由熊本到鹤崎都使用这条道路，由鹤崎可以搭船连接大阪。到了江戸时代，「参勤交代」(出来御官督御主振务)制度确立之后，细川藩也将这条街道当作往返江戸之用。

沿着这条街道，以熊本城的西大手门(新町一丁目)作为起点，每一里都种上里程树以作为记号，并在休息的地方设置了茶馆。

由这条道路来到谷内，则可以看到至今仍保留着的以往的铺石地或茶馆的遗迹。



参勤交代の道(豊後街道)

石畳



ハハコグサ(母子草)キク科
2013/05/13熊本市阿蘇市二重峠



キツネアザミ(狐薊)キク科
2013/05/13熊本県阿蘇市二重峠



オカオグルマ(丘小車)キク科
2013/05/13熊本県阿蘇市二重峠



バイカイカリソウ(梅花碇草)メギ科
2013/05/13熊本県阿蘇市二重峠



